

公開シンポジウム (参加無料)

都市の公園や未利用空間を利用した 都市農業の可能性

主催：日本学術会議 農学委員会 農業生産環境工学分科会
共催：大阪府立大学大学院生命環境科学研究科
後援：日本農業気象学会、日本生物環境工学会、日本農業工学会、生態工学会、園芸学会、
日本造園学会、日本緑化工学会、新農林社、大阪府立大学植物工場センター

開催趣旨

都市及びその周辺において、消費地に近い特性を生かし、都市住民の需要に即した農業生産を振興することが我が国の施策となっています（食料・農業・農村基本法第36条）。都市農業の役割は、新鮮で安全な地産地消農産物の供給、身近な農業体験を通しての農業理解、食育・環境教育の支援、コミュニティ活動の場の提供、緑地としてのアメニティー空間の提供、防災空間の確保、国土・環境の保全など、様々です。今後、「都市農業」におけるこれらの多様な意義を一層有効活用するためには、農学、生命環境科学、社会科学、教育学など多様な分野の科学的視点から、「都市農業」の方向性、具現化過程での問題点などを整理し、その課題解決のための有効な方法を見出し、政策策定・施行に向けて積極的・具体的に提言していく必要があります。

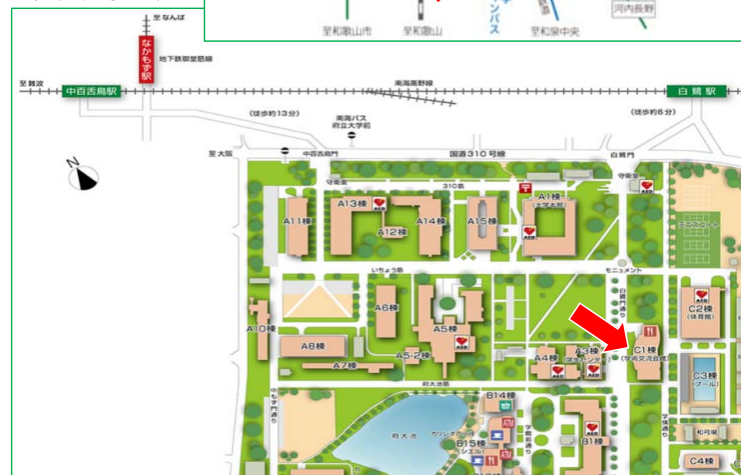
本シンポジウムでは、「都市農業」の具現化に向けて、緑地環境科学および農業環境工学的視点を中心に、社会科学や政策面も含めて議論します。

プログラム

- 13:00 開会挨拶
大政謙次(日本学術会議会員・第二部副部長・農業生産環境工学分科会委員長)
- 13:05 趣旨説明
北宅善昭(日本学術会議連携会員、大阪府立大学大学院生命環境科学研究科教授)
- 13:10- 16:50 講演
前半司会: 荊木康臣(日本学術会議連携会員、山口大学農学部教授)
- 13:10 都市域内農地の現状と今後の方向
増田 昇(大阪府立大学大学院生命環境科学研究科教授)
- 13:50 空き地や屋上などの未利用空間を活用した農業生産の風景ーエディブルランドスケープの可能性
長濱伸貴(神戸芸術工科大学大学院芸術工学研究科准教授)
- 14:30 農作業体験の場となる都市公園の整備ー国営明石海峡公園の農体験プログラム展開に関する課題と対応
辻本 慎太郎(国土交通省近畿地方整備局国営明石海峡公園事務所長)
- 後半司会: 奥島里美(日本学術会議連携会員、国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構農村工学研究所上席研究員)
- 15:40 公園を利用した「まち」の中での環境教育ー府営公園での環境学習を通じた新たな魅力づくり
増山和弘(大阪府都市整備部都市計画室公園課長)
- 16:20 「まちなか植物工場」の展開ー具体例とその文化的・食料生産リテラシー的意義
古在豊樹(日本学術会議連携会員、NPO植物工場研究会理事長、千葉大学名誉教授)
- 16:50 総合討論
進行: 北宅善昭(前掲)
コメントータ: 位田晴久(日本学術会議連携会員、宮崎大学名誉教授)
真木太一(日本学術会議連携会員、九州大学名誉教授)
橋本 康(日本学術会議連携会員、愛媛大学名誉教授)
- 17:25 閉会挨拶
橋本 康(前掲)

日時: 2016年4月26日(火)
13:00~17:30

場所: 大阪府立大学中百舌鳥
キャンパス 学術交流会館(C1棟)
大阪府堺市中区学園町1-1
地下鉄御堂筋線「なかもず」駅下車徒歩15分
南海高野線「白鷺」駅下車徒歩10分
<http://www.osakafu-u.ac.jp/access/index.html>



事前申し込みは不要です。ただし資料の部数が限られますので、配布は当日先着順とさせていただきます。
問合せ先: 大阪府立大学生命環境科学研究科 北宅(キタヤ)
(E-mail: kitaya@envi.osakafu-u.ac.jp 電話: 072-254-9434)